

ノーサイド

北原 巖 男

優しく逞しく、そして涙もた。厳しい環境の地で頑張る愛娘を大変心配しながら

る看護師さん。急患発生も応援されていたお父さん

の連絡を受けるやいなや、彼女から「取材拒否

いち早く村人のもとに駆けよ」と聞いてとても残念

付け、限られた手段の中で、がったとのこと。・・・実

懸命に尽くす。そんな彼女は、彼女を推薦した張本人

は、いつしか地域の皆さんは僕。

から受け入れられ愛され、彼女の「こんなところに

人々は、自分の娘の帰老をなんて、ひどい！」は、そ

心待ちにしているように彼女の訪問を喜び、一緒に食

事を作って食べた。何でも相談したり、逆に、彼女

の悩みにも親身に相談に乗ってくれました。泣いたり

笑ったり、婿さんの候補を紹介するからこのままこ

端の地口スパロスにて、いなさいとまで言われる

村人の皆さん達の保健・よつにもなりました。

彼女は、番組のタイトルを聴いただけで、即座に取

材申し込みを断ったのでしる彼らに飛び込み、弾む会

日焼けしたクリクリ瞳

「あなた、スバスパ耳の痛いことを言うね。でも、あんたが来ると元気になるよ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

よ。これ食べろや。取つてよ」と聞いてとても残念

向かい合い

その土地の価値観や文化を理解することはとても大事だなぁと思います。もちろろん、自分の国の価値観、文化を捨てなくても良く

て、分かった上で、合わせようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し

合ってお互いへの理解に努めるようにしてみたり、話し合ってお互いへの理解に努

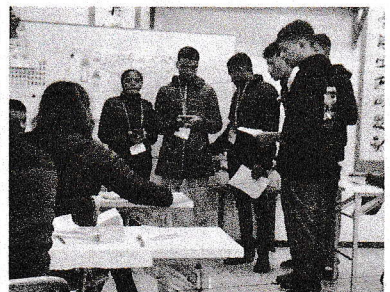
農業技能実習生に教育を実施

東京都隊友会世田谷支部 (支部長・岩崎修治) は、同支部員でもある隊友会理事兼ねて日本東ティモール協会長・北原巖男氏の要請を受け、1月末に高知アクリファーム協同組合で受け入れた農業技能実習生の来日直後の教育を、榎本副支部長が支援した。

実習生は東ティモール人7名とカンボディア人2名の9名であり、2月5日から9日までの5日間の支援であった。これは昨年初めて東ティモールから7名の技能実習生を受け入れたものの「対価を得て実習している」という意識が低いことから、今般来日した第二次農業実習生に自衛隊流の厳しさを付与しようとの協同組合長の発案を北原氏に相談されて実現したものである。

自衛隊流で教育

午前中の教育では、朝は各部屋の整理整頓、清掃状況の点検に引き続きラジオリフレクションの点検を行い、その後約2時間半の基本教練を実施。終了後、5分間スピーチを実施し、座学で「日本及び日本人の特性」や彼らの「自主性を喚起」する座学教育を行い、技能実習の目的意



熱心に教育を受ける実習生

識の醸成に努めた。ただ日本語の理解ができる者が3名しか居なかったことから、カンボディア人には携帯アプリのボイスチェンジャーを使い、クメール語で、また東ティモール人には堪能な者が通訳して行う等の苦勞の多い教育であった。教育の最終日には代表理事と彼らの生活等を親身にみておられる事務員の方に基本教練の成果を見せられた。今回は停止間と行進の手織物を首にかけてもらったことは望外の喜びであった。本教育の担任を間列員動作のみであったが、日本語でかける号令に習生にも自衛隊で学んだ教育・訓練が十分に活かされることを確認された。

午前中の教育では、朝は各部屋の整理整頓、清掃状況の点検に引き続きラジオリフレクションの点検を行い、その後約2時間半の基本教練を実施。終了後、5分間スピーチを実施し、座学で「日本及び日本人の特性」や彼らの「自主性を喚起」する座学教育を行い、技能実習の目的意